

# 与那国島原産化石サンゴ

# ウルカル

安心・安全をモットーに

## 与那国島よりの贈物

ウルカルはすべての植物に活力を与え健全な植物を育てる70余種類のミネラルを含有しています。目・口・肌に触れても何ら心配無用です。安心してご使用になれます。

ウルカルとは、サンゴの別名ウルガバナ(※)から取った名称で、サンゴカルシウムのことです。大潮の干潮時に水面上にサンゴが顔を出した光景が花畑に見えることから、この名称で呼ばれています。(※ウルガバナ…サンゴのハナ)



### 葉面散布剤

### サンゴカルシウム配合

成分:カルシウム(Ca(C6H5O7))として10%

1kg (1ℓ) 業務用

特徴

- ◆ウルカルはサンゴカルシウム液剤です。植物のカルシウム吸収効率に優れ植物を活性化させる特徴をもっています。
- ◆ウルカルはご使用時に目や口に入っても、人体に害を及ぼす影響は有りませんので安心してご使用下さい。

効能

- ◆作物のカルシウム生理障害を防止します。
- ◆収穫物の品質と日持ちを向上します。
- ◆果実類の酸度修正と糖度を改善します。
- ◆ウルカルは化学物質を吸着する力が有ります。



■使用方法

希 釈 濃 度	500~1500倍
散 布 間 隔	野菜・花 : 1~2週間に1回 果 樹 : 1~2週間に1回

■散布方法

- ◆カルシウム欠乏の予想される部位(花房、果実、新葉、成長点)へ散布する。
- ◆灌水として使用できます。

よく振ってお使い下さい。

■使用上の注意

- ◆症状、使用目的によって散布間隔をきめて下さい。
- ◆夏期高温時においては日中の散布をさけて下さい。
- ◆沈殿物に多少のバラツキが有っても、内容成分は変わりません。
- ◆温度差によってはカビ等が発生する事がありますが、品質には問題ありません。

■保管

- ◆密閉して湿度の低い冷暗所に保管して下さい。

※農薬、殺虫剤と一緒に使用しないで下さい。



化石サンゴ



【生産業者】コーラルインターナショナル株式会社  
〒861-4621 熊本県上益城郡甲佐町大字下横田字中川原511番地  
<http://www.coral-int.com>

— ウルカルを使用する時はラベルをよく読んでお使い下さい —

# 葉面散布剤 ウルカル

液状1kg入り  
500~1,500倍 希釈

## 特徴

- 与那国産天然化石サンゴの力が100%発揮されるように製造されていますので、人畜無害、散布する時体についても安心、安全です。
- 希釈に500~1,500倍の幅を持たせ、作物の葉・莖・根・実と、様々な条件下に合うように作られています。
- 灌水として流す事もできます。

化学薬品一切添加されていません

## 効能

- 溶解力が高いので、散布時作物に吸収されやすい。
- カルシウム、マグネシウム等のミネラルがバランス良く含まれている。(70余種類)
- 活力ある作物になる → 作物の生理作用が良くなる → 相乗効果 → 収穫に差が出るカルシウム以外の働きも
- 葉面散布だけでなく、例えば定植時の根回し水として使用すると、根の活着が良くなります。(希釈して使用して下さい)

## 希釈例

- 西瓜 苗の時(定植前) 1,500倍 → 定植してからは1,000倍
- 胡瓜
- 苺
- トマト
- 稲
- みかん
- デコボン
- 1,500倍 (露地栽培は1,000倍)
- ・10a当り150L位を目安に希釈して下さい。
- ・作物によっては10a当り200Lになったりしますので、希釈はご自分の判断でお願いします。

## 葉面散布

- 農薬及び殺虫剤との混合は基本的にしないで下さい。ウルカルだけの葉面散布をして下さい。
- 高温時の散布はしないで下さい。15時以降の温度が少し下がった頃にして下さい。
- 10~14日間隔で散布して下さい。
- ※作業効率化の為に混合したい方は、ご自分で実験をし、葉害が出ないか確認して散布して下さい。
- ※蒸発を少なくし、出来るだけ長い間作物に吸収させる(22℃以下)
- ※作物の状態をみて7日間隔で実施しておられる方もいらっしゃいます。(実が多くなっている時期など)

### 応用1-1 農薬を使用しなければならない時

例) 胡瓜長期取り... 10日間隔の散布で予定を組んだが、散布予定日に病気が出てしまったので、農薬を優先して撒いた。



農薬、殺虫剤をご使用になった場合は4日位後に散布して下さい。

病気が出てしまった → 農薬を優先して散布

- ウルカルは4日後(3/14)に散布する
- 以降の予定も4日後にする(3/24, 4/4)

### 応用1-2 農薬を使用しなければならない時

ウルカル散布予定日に農薬、殺虫剤を使用しなければならない時は、ウルカルを葉面散布ではなく灌水で与えて下さい。そうする事で、収穫終了までのウルカル散布を予定通りに行えます。

### 応用2 葉害がしやすい時期

例) みかん・デコボンについては葉面散布すると葉害がしやすい時期があります。

満開から40~110日の間

→この時期にウルカルを与える場合は灌水で

- ハウスの湿度が高くならず、果実に水滴がつかない程度に灌水でする。

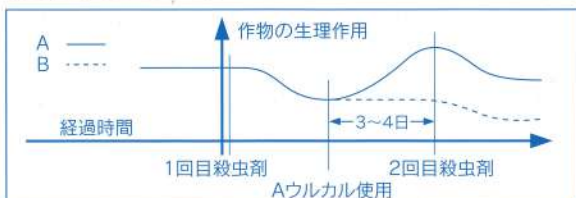
この時期は果実にジュースが入ったり、着色したりするので葉害が起こりやすい。水滴1つでも葉害になります。(水滴が果実に付くとそれがレンズの働きをし、太陽の日差しで焼けたような状態になります。=これも含めて葉害と言います。)

### 応用3 殺虫剤を使用した時

例) 長期取りの作物で(ハウス)殺虫剤を1~2回続けて使用しても、まだダニが発生している。3回目の使用をしたい。

この時、殺虫剤で作物は大きいダメージを受けています。(実がついているなら尚更です)

特にこの時はウルカルを与えて元気づけ、それから3~4日後に殺虫剤を使用して下さい。

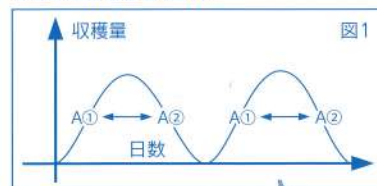


作物自体もちろん回復能力を持っているが、ウルカルを与え回復を促進させることで、次回殺虫剤使用時のダメージも少なくなる。

### 応用4 収穫の落ち込みを小さくする

長期取りの作物は収穫できる時期とあまり収穫出来ない時期が繰り返されます。

収穫の波ができる(図1)



実が多くなると(収穫)樹勢が弱くなりますのでウルカルで栄養を与えます。

- ・図1のA①~A②の間に散布
- ・あるいは灌水を7日間隔で行う

作物の状態が良くなる  
→実の状態が良くなる  
→安定した供給ができる。

